

麻しん（はしか）患者の発生について（第2報）

4月20日（金）、名古屋市内の医療機関から名古屋市保健所に、「4月12日（木）に名古屋市が公表した麻しん患者と接触していた可能性のある職員（愛知県西春日井郡豊山町在住）が、麻しんの典型的な症状は出ていないが、発熱等の症状がある」旨の情報提供があり、名古屋市衛生研究所が患者の検体について遺伝子検査を実施したところ、本日、麻しん陽性であることが判明しました。

その後、本市から愛知県へ情報提供を行い、愛知県清須保健所が患者の疫学調査を実施し、下記のとおり本市へ報告がありました。

市内の医療機関において当該麻しん患者と接触した可能性のある方については、5月8日（火）まで名古屋市保健所等が健康観察を実施します。また、4月17日（火）に下記の公共交通機関を利用した方で、麻しんを疑う症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関にご連絡の上、速やかに受診を促すところとなります。

1 患者の概要

30歳代 女性 愛知県西春日井郡豊山町在住 医療事務 主な症状は発熱 ワクチン接種歴は不明

2 患者の行動等

4月9日（月） 昭和区内の医療機関Aに勤務（麻しん患者と接触した可能性あり）
4月17日（火） 昭和区内の医療機関Aに通勤（8:00～8:40頃：名鉄小牧線、上飯田連絡線・名城線右回り、16:00～17:00頃：地下鉄名城線左回り・上飯田連絡線、名鉄小牧線を利用）
4月18日（水） 発症（38℃前後の発熱で自宅にて療養）
4月19日（木） 北区内の医療機関B及び北名古屋市内の医療機関Cを受診（移動は自家用車を使用）
同日 北名古屋市内のレストランを利用（移動は自家用車を使用）
4月20日（金） 昭和区内の医療機関Aを受診（移動は自家用車を使用）
4月21日（土） 名古屋市衛生研究所による遺伝子検査の結果、麻しんと確定
同日 愛知県清須保健所が患者調査を実施

3 今回の麻しん（はしか）について

- 4月17日（火）に公共交通機関を利用して当該患者と接触した可能性のある方は、5月8日（火）まで（特に26日（木）から29日（日））の間に麻しんを疑う症状（発症時は発熱のみの場合があります）があった場合は、必ず受診前に医療機関に連絡し、麻しんを疑う旨を伝えた後、医療機関の指示に従い早急に受診していただくことが大切です。また、受診の際は、周囲に感染を拡げないよう公共交通機関の利用は避ける必要があります。
- 1歳（第1期）と小学校入学前年度（第2期）に、MRワクチンの定期予防接種を忘れずに実施することが肝要です。